

別紙 I

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 湯前町社会福祉協議会

事業報告

Ⅰ 法人運営事業拠点区分

①役員会等の開催

1) 理事会（開催回数 5回）

（協議事項）

- ア) 規程等改正 6 議案
- イ) 人事案件 2 議案
- ウ) 事業報告・予算関係 5 議案
- エ) 会議招集 5 議案
- オ) 報告 3 報告

2) 評議員会（開催回数 3回）

（協議事項）

- ア) 規程等改正 2 議案
- イ) 事業報告・予算関係 4 議案

全議案原案のとおり可決した。

3) 監査（開催回数 1回）

（監査内容）

- ア) 令和3年度事業報告並びに収支決算について

4) 評議員選任・解任委員会（開催回数 2回）

（協議事項）

- ア) 評議員選任について
3名を選任していただいた。

5) 事業推進委員会（開催回数 3回）

（協議事項）

- ア) 日赤会費募集について
- イ) 社協会員会費徴収依頼について
- ウ) 共同募金活動依頼について

②会員会費募集活動

	件数	金額
特別会員（10,000円）	13件	130,000円
賛助会員（1,000円）	294件	294,000円
一般会員（300円）	1,106件	327,900円
その他	1件	700円
合計	1,415件	756,800円

前年比で、22件の増、金額は12,200円増であった。会費は地域福祉推進事業に活用させていただきます。

③寄附金報告

	件数	金額
一般寄附金	3件	30,000円
香典返し寄附金	52件	1,103,000円
合計	55件	1,133,000円

ご寄附に対し、深く感謝申し上げます。地域福祉推進事業に活用させていただきます。

④地域福祉推進事業

事業名	内 容
児童福祉事業	新一年生への黄色い帽子・安全タスキ寄贈事業 18セット 準要保護世帯児童修学旅費助成 小学生3名・中学生4名
老人福祉事業	生き生き健康教室（レク担当）28回実施 243名 支援家庭リサイクル品回収事業 4回実施70件 ※誕生会 中止し対象者へ記念品を配付 3回実施 605名 ※高齢者福祉事業 小学校運動会への高齢者招待 中止
母子福祉事業	※一日家族行事中止
地域福祉事業	事業推進委員会活動費助成 23名 地域福祉活動支援事業 12地区実施
心配ごと相談 所設置事業	心配ごと・行政・人権合同定例相談会 12回開催 相談件数 29件

コロナウィルスの影響を受け、ほとんどの事業において中止または内容変更して実施した。誕生会は対象者605名にお祝いのメッセージと記念品をお贈りした。地域福祉活動支援事業は、12地区で実施していただいた。支援家庭リサイクル品回収事業は、民生委員協議会と合同で予定通り実施した。対象者の感謝の言葉等いただき、大変喜んでいただいた。

⑤共同募金配分金事業

事業名	内 容
老人福祉 活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者24件 短期生活介護自己負担額補助事業 利用者5名 いきいき交流事業 7回開催 老人クラブ47名、民生委員30名 在宅介護者リフレッシュ事業11名
障害児・者 福祉活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者1件 あゆみの会七夕まつり参加協力 参加者70名
児童福祉 活動事業	学童クラブとの合同事業（慈光・湯愛学童クラブ） 花いっぱい交流事業 通常開催各2回ずつ開催 小学生68名、老人クラブ52名 ふれあいの集い 独居高齢者を招待し、軽スポーツ大会を行う 小学生30名、高齢者9名 卒業記念品作成事業 卒業記念品としてマグカップ作成 小学生31名、陶芸部会6名 チャイルドシート購入助成事業 4件
福祉育成・ 援助活動事業	事業推進委員会活動費助成 23名 小学校・中学校ボランティア協力校支援事業 ちよこっとボランティア「ささえあい」事業費助成 傾聴ボランティア育成事業

「いきいき交流事業」は7回実施、小学校の「花いっぱい交流事業」は通常通りの交流会を2回実施、卒業記念品作成事業も通常通り開催した。あゆみの会は7月に七夕祭りを開催され70名の参加があったが、12月のクリスマス会はコロナウィルスの影響もあり中止となった。在宅介護者リフレッシュ事業は介護者の方々と情報交換会を行った。

⑥地域福祉団体への助成

1) 団体助成（2団体）

老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協議会、

2) 事業助成

慰霊祭（湯前町遺族会） 5月24日実施（遺族会役員のみ参加）

⑦その他の地域福祉推進事業

1) ボランティア活動の促進と福祉教育の推進

災害ワークキャンプ小学校 2名
 災害ワークキャンプ中学校 2名

2) 低所得者対策事業

福祉金庫貸付事業 貸付者数 0件 貸付金額 0円

資産総額 585,224円 (通帳残545,224円+貸付金未償還額40,000円(1件))
 (運用状況)

収入		支出	
前年度繰越金	435,220円	貸付金	0円
償還金	110,000円		
利息	4円		
合計	545,224円	合計	0円
		当年度繰越金	545,224円

(貸付状況)

支出		収入	
前年度未償還額	150,000円	償還額	110,000円
貸付額	0円		
合計	150,000円	合計	110,000円
		未償還額	40,000円

長期滞納者が1名おられるが、催促状の送付等償還に向けた活動は継続して行っている。

3) 健康福祉まつり (ゆのまえ漫画フェスタ)

中学生ボランティアによる共同募金広報活動は中学生の参加がなかったため、社協職員のみで実施した。

4) 赤い羽根共同募金活動

募金名	件数	金額
戸別募金	1,238件	623,300円
大口・法人募金	47件	254,000円
職域募金	7件	168,308円
学校募金	1件	25,498円
街頭募金	1件	25,498円
その他の募金	10件	58,770円
合計	1,304件	1,132,425円

前年比20件減で金額は9,306円増額となった。職域募金と法人募金で増額したが個別募金、学校職域募金などが減額となった。令和5年度に952,425円が共同募金配分金として湯前町に配分されます。

多くの方の善意をいただくことができました。大変お世話になりました。

5) 日赤会費募集 (令和4年度実績)

会費総数 1,257件 633,800円
 ウクライナ人道危機救援金 1件 40,075円
 トルコ・シリア地震救援金 6件 36,803円

会費募集活動の際は、事業推進委員、地域婦人会の皆様にご協力いただきました。町民の皆様の大きな支援に感謝申し上げます。

6) 情報の整備と提供

ホームページ(社会福祉協議会・保育園)運営

閲覧者 社会福祉協議会 年間ユーザー 1,213名 述べ閲覧者 3,482件
保育園 年間ユーザー 3,899名 述べ閲覧者 33,016件

7) 地域福祉権利擁護事業

利用者実人員 11名(新規契約者 3名)

支援件数 88件

認知症など判断能力が十分でない方を対象に、日常的な金銭管理等の支援を行う。

8) 生活困窮者等自立相談業務支援事業

相談者実人員 6名(生計2件、家計管理2件、福祉資金2件)

プラン作成件数 0件

生活困窮者に対し、第2のセーフティネットとして就労支援や家計相談等の支援を行うことにより、自立の促進を図ることを目的としています。

9) 災害ボランティアセンター設置訓練(郡市社協合同事業)

例年9月に実施しているが、令和2年の豪雨災害の影響とコロナ禍ということもあり今年も中止することとなった。

2 介護保険事業拠点区分

①会議及び研修

居宅介護支援	上球磨地域事業所連絡会代表者会、上球磨事業所連絡会、災害時の対応と現在の方針、球磨圏域介護支援専門員協会総会、認知症の段階別ケア研修、災害時情報共有シート活用訓練、高齢者虐待防止とアンガーマネジメント研修、湯前町民生委員協議会定例会、業務継続計画(BCP)作成のポイント研修、ほんわり会(介護を通して家族と共に過ごせた日々)、中学生認知症サポーター養成講座、感染対策の基本、新型コロナウイルス感染症対策の動向、上球磨地域ケア会議、ケアプラン点検支援研修、ケアマネジメント研修、100歳時代を支える足爪ケア、適切なケアマネジメント手法、小学校認知症サポーター養成講座、自立支援のための介適環境作り、湯前町健康づくり推進協議会(歯科部会)、市区町村社協介護サービス経営研究会、指定障害福祉サービス事業所等集団指導、居宅介護支援事業所連絡会、ケアプラン点検事業、球磨圏域介護支援専門員協会役員会、上球磨地域包括支援センター運営協議会、湯前町介護保険運営委員会、ケアプラン点検ガイドライン研修
訪問介護	上球磨地域事業所連絡会、介護サービス事業者等集団指導、熊本県ホームヘルパー前期研修会、熊本県ホームヘルパー後期研修会、熊本県ホームヘルパー研修会Ⅱ、指定障害福祉サービス事業者等集団指導
通所介護	認知症介護実践者研修、介護サービス事業者等集団指導、九社連 通所介護部会セミナー(業務継続計画作成のポイント)、上球磨地域事業所連絡会、上球磨地域ケア会議 熊本県老人福祉施設協議会 介護ロボット・ICT導入支援研修会

②介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業等実績報告

1) 居宅介護支援事業 (ケアプラン作成)

		令和4年度	月平均
居宅介護支援事業	(要介護1~2)	823件	68.6件
	(要介護3~5)	324件	27.0件
	サービス件数計	1,147件	95.6件
	居宅介護料収入	17,107,230円	1,425,603円

前年度と比較し、35件増、居宅介護費収入は4,877千円増となった。前年度は2名の介護支援専門員で、担当数が適応人数を超え、逡減制度が適応されていたが、令和4年度より、介護支援専門員が3名体制となり、支援体制が整ったことで、特定事業所加算Ⅲを算定できるようになった事も収入増の要因と言える。また、上球磨包括支援センターより、介護予防計画書作成について、業務委託を受けており、どのような状態の方でもマネジメント業務ができる体制を整えている。

病院や上球磨包括支援センターより、新規の方の紹介を受ける事が多く、中には経済的な問題や家庭内の問題を抱えている方もおられるが、社会福祉協議会の特性を活かし、権利擁護事業担当者や民生委員、区長、シルバーボランティアの方々等との連携や情報共有にて、支援を行えるようにしている。また、公立多良木病院在宅医療センターより、訪問診療を受けられている方も多く、重度の方でも主治医との連携により、介護サービスを調整し、在宅生活を継続する事ができている。

高齢化率が高い湯前町であるが、独居の方、認知症や精神疾患を有する方、医療処置を要する等、様々な状態にある要介護高齢者とその家族の方一人一人が、この住み慣れた地域で生き生きとした生活を送ることができるよう、専門性を活かし、多職種と連携しながら支援していきたいと思う。

2) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス)

		令和4年度	月平均
訪問介護	身体介護	798件	66.5件
	身体介護・生活援助	108件	9.0件
	生活援助	2,022件	168.5件
	サービス件数計	2,928件	244.0件
	介護報酬収入	8,092,280円	674,356.7円
総合事業 (介護予防)	サービス件数計	652件	54.3件
	介護予防報酬収入	2,132,280円	177,690.0円

介護保険利用者34名。うち新規契約者・利用再開10名、解約者12名(入院・入所者4名、中止4名、死亡4名)新規契約者が増加しても、家族と同居やお元気になり中止される方、ショートステイや入院される方などが多かった。前年度に比べ身体・生活の利用は減少したが、一日複数回訪問するオムツ交換などの身体介護が若干増え、介護報酬収入はやや増加した。

総合事業利用者数14名。うち新規契約者5名、解約者1名(転居1名)介護保険へ移行3名。前年度に比べ利用者数が増え、介護予防報酬収入はやや増加した。

利用者様のニーズに合わせたサービスを行い、1日でも長く住み慣れた在宅で安心して生活していただける様、地域の方や行政、他事業所、居宅介護、通所介護と情報交換・連携を行いながら支援していきたい。

また、訪問時の検温、マスク着用、消毒など感染対策を継続している。

3) 通所介護事業 (デイサービス)

		令和4年度	月平均
通所介護	通所介護 (要介護1)	2,219件	184.9件
	(要介護2)	2,386件	198.8件
	(要介護3)	1,584件	132.0件
	(要介護4)	477件	39.8件
	(要介護5)	154件	12.8件
	サービス件数計	6,820件	568.3件
	介護報酬収入	62,378,410円	5,198,201円
総合事業 (介護予防)	サービス件数計	687件	57.3件
	介護予防報酬収入	3,255,380円	271,282円
食費	サービス件数	7,505件	625.4件
	食費収入	4,127,750円	343,979円
教育費	サービス件数	735件	61.3件
	その他の利用料収入	73,500円	6,125円

年間行事	
ア) 季節行事	桜花見、つつじ見物、大運動会、避難訓練、敬老週間、紅葉狩り
イ) 特別食	クリスマス会、絵馬作り、初詣 (里宮神社)、節分
ウ) レク大会	花見弁当、敬老・正月祝い膳 カラーお手玉等体を使ったゲーム、テーブルゲーム、100歳体操 いきいき体操

年度初めは要介護者50名、総合事業 (要支援者含む) 10名の計60名で開始した。新規契約者13名、契約解除者16名 (施設入所、死亡)。利用回数増を希望される利用者も多かった。1日平均利用者25名を目標に取り組んだ結果、24.38人/日で目標には及ばなかったものの介護報酬金額は前年比3,956千円増となった。

令和4年度はコロナ感染症が利用者・職員に発症した。クラスター迄には至らなかったが、保健所の指導に基づき、消毒方法・換気・密にならない座席配置等を改めて検討し、再び感染クラスター発生とならないよう努めている。

また、コロナ対策として様々なイベント、ボランティアの受け入れを縮小、中止している。ボランティア等を中止した事により、1番の楽しみにされている保育園・こども園との交流、心のふれあいレクリエーションなどが中止。敬老会も行事食のみで縮小して実施した。おやつ作りは全て中止。今後はイベント、ボランティアの受け入れを再開できるように現在検討中である。引き続き、日頃のゲームやレクリエーション、100歳体操、チューブを活用した脳トレ、口腔体操等をますます充実させ、利用者が安心して楽しめる施設を目指していきたい。

利用者にはマスク着用、食事中は黙食、消毒の徹底など不自由さは当分続くが、その中でも楽しくできる事、利用者が望まれる事に耳を傾け、コロナ対策を行いながら、行政、居宅、他事業所、包括との連携を行い、安心安全で「また来たい」と思ってもらえる魅力的な介護サービスをめざしている。

③障害者福祉サービス事業実績報告

1) 指定障害福祉サービス事業

		令和4年度	月平均
指定障害福祉サービス	身体介護	951件	79.3件
	家事援助	563件	46.9件
	サービス件数	1,514件	126.2件
	介護給付費収入	6,776,050円	564,670.8円

利用者3名。うち新規契約者2名。身体介護は、1日2～3回訪問し日常生活に欠かす事ができない食事やトイレ介助を支援。家事援助においては、日常生活に不安がある方へ生活スキルを身につけるため掃除や片付けなど助言を行いながら支援している。

前年度に比べ利用者数の増加やサービス内容・時間の増加があり、やや収入増になった。今後も利用者様の希望に添う支援を心がけて行きたいと思う

④委託事業実績報告

1) 地域支援事業支援業務

事業名	内 容
介護予防日常生活総合支援事業	ア) 通所サービス (A型) 98回 イ) 通所サービス (C型) 46回
一般介護予防事業	ア) 地域づくりによる介護予防推進支援事業 (いきいきクラブ) 22分館 (53回)
その他	ア) 訪問調査 10回 イ) JA移動販売所訪問 4回 ウ) 認知症サポーター養成講座 (中学2年生・小学5生) エ) ほんわり会 介護教室 7回 オ) 介護用ベッド搬入等 10件
会議	総合事業に係るサービス調整会議、上球磨地域ケア会議 ちよこっとボランティア「ささえあい」会議
研修	防災講話 支え合いマップ作り説明、令和4年度生活支援コーディネーター養成研修会 (基礎・実践編)、ルネサンス体操体験会、生活支援コーディネーター連絡会議、シナプソロジーインストラクター養成研修、人吉球磨ブロック生活支援コーディネーター意見交換会、傾聴ボランティア研修会

一般介護予防事業「地域づくりによる介護予防事業推進支援事業」として、公民分館を活用し22分館が活動中。週1回分館へ通い「いきいき100歳体操」を取り組む中で、出前講座を取り入れ様々な活動に取り組んでいる。

B&G海洋センターを活用した通所型サービスA (通所A) では、毎週火・水曜日の午前中に自宅で出来る運動や体操、レクリエーション等を実施。自宅では、「自宅脳トレ」問題、「自宅で出来る運動」に取り組んでいただいている。

通所型サービスC (通所C) は、4カ月の1クールで水曜日の午後に実施。専門職を活かしたサービスで、毎週各専門職 (理学療法士・作業療法士・健康運動指導士・歯科衛生士) が交代で生活機能の改善を行っている。要介護状態を防ぐ為に短期間に集中したりハビリ (介護予防) を目的として行っている。

生活支援体制整備事業として、令和2年4月より活動しているゆのまえちよこっとボランティア「ささえあい」では、高齢者、障がいがある方や子育て世帯などを対象とし、日々の暮らしの中で起こる“ちょっとした困りごと”のある方 (利用会員: 52名) に、そのお手伝いができる方 (協力会員: 32名) が有償ボランティアとして活動し、日々の暮らしをサポートする会員制の仕組みです。利用者もサービスの種類も年々増え、感謝のお言葉をいただいている。今後も地域での支援の繋がりができたらと思う。

また、モデル事業として、支え合いマップ作り説明会を2分館にて実施。高齢者や障害者など援護を必要とする人々が安心して暮らせる地域づくりのため、地域の支え合いの体制強化を図り、見守り活動や生活支援ボランティアの育成及びニーズの把握を行っていききたい。

一般介護予防事業として、住民主体の通いの場を増やし、介護予防活動に取り組みたい。生活支援サービスとして、地域の支え手が参加して定期的な情報共有と連携強化の場を中核となるネットワークづくりの中で、地域の困りごとやニーズの解決策、対応策などを話し合い、一緒に考え既存のサービスの新たな活用方法や困りごと、要望に応じた仕組みを考え、湯前町版「地域包括ケアシステム」を作り上げていきたいと思う。

2) 養育支援訪問事業

		令和4年度	月平均
養育支援訪問事業	家事支援	31件	2.6件
	委託料収入	87,575円	7,297.9円

役場の委託事業。生活環境や精神的に不安がある養育状態の方の家庭に支援を実施している。1世帯のみの利用。疲労軽減目的により調理・掃除支援を行い、傾聴を行う事で安心感が得られている。今後も利用者様に寄り添い信頼関係が築けるよう支援していきたい。

3 生活支援ハウス拠点区分

①受託事業実績報告

1) 高齢者生活福祉センター受託事業

利用者数 実人数 8名

新規契約者 1名、契約解除者 0名

サロン活動 2回開催

(内容：5月避難訓練、11月避難訓練等)

買い物代行サービス 延べ13回

隣保間とのトラブル、怪我等もなく健やかに過ぎていただけたと思う。

4 放課後児童健全育成事業拠点区分

① 学童クラブ運営事業実績報告

		令和4年度	月平均	
学童クラブ事業	利用人数	14,412人	1,201人	
	開設日	293日	24.4日	
	学年別 登録児童数	1年生	239人	19.9人
		2年生	211人	17.6人
		3年生	259人	21.6人
		4年生	79人	6.6人
		5年生	60人	5.0人
		6年生	116人	9.7人
登録児童総数	964人	80.3人		

会議及び研修	
・放課後児童支援員認定資格研修・発達障がい連続講座トピック講座 ・発達障がいの特性理解、支援について(クラブ内研修)	
年間行事	
ア) 季節行事	夏祭り、プール、サップ、クリスマス会
イ) その他	火災避難訓練、地震避難訓練、防犯訓練

82人の登録でスタートし、年度途中入所1人、途中退所6人。安全に子どもたちを保育することを第一に取り組んだ。館内の除菌・消毒、職員や児童の手洗、マスクの着用や密を避け新型コロナの予防を徹底し閉所することなく運営ができた。保育内容については、昨年同様、長期休暇中のタイムスケジュールの設定や活動内容の充実をおこなった。

また、保護者が安心して預けられるよう児童の見守り体制(人員配置、増員)の強化を図るとともに、支援員の質の向上に努めた。

5 保育所運営事業拠点区分

① 湯前保育園事業実績報告

		令和4年度	月平均	
湯前保育園事業	保育日数	292日	24.3日	
	登録園児数	0歳児	166人	13.8人
		1歳児	98人	8.2人
		2歳児	108人	9.0人
		3歳児	84人	7.0人
		4歳児	120人	10.0人
		5歳児	156人	13.0人
		合計	732人	61.0人

会議及び研修	
キャリアアップ研修（マネジメント、乳児保育、幼児教育、保健衛生・安全対策） 園内研修（6回実施）	
年間行事	
ア) 季節行事	水泳、運動会、秋の遠足、発表会、クリスマス会、餅つき、マラソン大会、節分、お店屋さんごっこ、ひな祭り、お別れ遠足、卒園式、誕生会
イ) 交流事業	祖父母交流、野菜づくり、慈光こども園年長児交流
ウ) 学習会	親子体験学習、親の学び
エ) その他	運動遊び、サッカー教室、和太鼓教室、避難訓練、保育参観

4月に5名が入園し、54名でスタート。年度途中の入園児は14名、退園児は1名だった。

コロナ感染症により1日の全園休園、23日間の一部休園をおこなったが行事は縮小しながらも実施することができた。

病児保育（体調不良児型）は、延べ211件の対応をおこなった。

一時預かり事業は、1名が148日利用され240,800円の収益となった。

子育てサークルは17回実施し、参加者は延べ76人であった。

施設整備においては、補助金を申請し園児トイレと病児保育室の改修をおこなった。

入所児の増加等により、将来における施設整備として11,000,000円の積立ができた。

6 収益事業（祭壇貸付事業拠点区分）

① 祭壇貸付事業実績報告

1) 祭壇貸付事業 0件